

図りつつ、地域の実情に応じた被害対策に積極的に取り組みます。

平成二三年度については、徳島県つるぎ町における「郷土の森」の設定、徳島県那賀町における保護林拡充のための調査・検討、徳島・高知両県にまたがる剣山・三嶺地区及び愛媛・高知両県にまたがる滑床・黒尊地区におけるニホンジカの動態調査や被害跡地の再生対策、ニホンジカ捕獲ワナの改良及びニホンジカの捕獲に取り組みます。

③ 特定流域総合治山事業について

国有林と民有林の治山事業箇所が近接している場合に、一体的な整備を行い、事業効果の早期発現と効果的な事業実施を図り、流域全体の保全や地域の安全性を確保する

ための治山施設の設置や森林の整備を図る事業を連携して推進する必要があります。



谷止工の施工状況

平成二三年度は、徳島県三好市祖谷川地区、愛媛県今治市の龍岡上地区、高知県土佐清水市の西川地区において崩壊地の拡大防止や土砂の流下防止を目的に山腹工・治山ダム工の施工や荒廃した森林について本数調整伐等の森林整備を実施します。

四 森林の理解促進、国民参加の森林づくりに向けた取組

四国森林管理局では、保健休養や森林環境教育の推進のため、国有林を活用したレクリエーションの森、ふれあいの森、遊々の森等を設定し、森林とのふれあいの場を提供するとともに、局・署等において学校等を対象とした森林環境教育を実施しています。



段ノ谷山での森林教室

(具体的な取組)

① 森林とのふれあいの場の提供

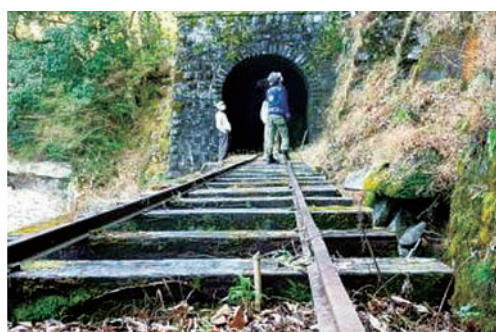
平成二三年度は学校等における森林環境教育の取組の拡大のため、体験学習に適した国有林において、体験学習のためのフィールド整備等を実施することとしています。

また、森林・林業体験交流促進対策事業として、高知県室戸市の佐喜浜地域と高知市の工石山地域においてフィールドの整備を行います。

② 国際森林年の取組

今年度は国連の定めた「国際森林年」です。「国際森林年」は世界中の森林の持続可能な経営、保全などの重要性に対する認識を高めることを目的とするもので、国内においても積極的な取り組み等が要請されています。

このため、四国森林管理局においても、国民の森林の適切な管理経営を進めるとともに、国際森林年の趣旨に沿って、積極的な情報発信や取り組みを行うこととして、国際森林年記念分収造林の設定や高知県馬路村魚梁瀬千本山と百年の歴史・森林鉄道遺産を訪ねるツアーの開催などの取組を通じて、国際森林年の普及啓発と森林との関わり場の提供を行っていきます。



五味隧道 (馬路村馬路)

# 各地のたより



## 八面山で森林教室

(自然のかくし絵)

〈ふれあいセンター〉

五月一三日、四万十市立口屋内小学校の全校児童六名を対象に、八面山とその周辺のブナ林において森林教室を行いました。

登山口で職員紹介、準備体操を行い登山を開始しま



カモフラージュのスタート

した。

登りながら登山道沿いの樹木の名前や、天然林と人工林の違い、森林のはたらしき等を学習しました。約一時間で八面山山頂へ到着、

眼下に広がる宇和海の景色を見ながら記念撮影を行いブナ林へ移動しました。

ブナ林では、自然の中に隠された人工物を探し出すカモフラージュというネイチャーゲームを行いました。ロープを張ったコース沿いに、オモチャのスポンジや

キュウリ、トカゲ、カブトムシ等を置き、一人ずつゆつくり歩きながら、木の幹や枝、地面に隠されている人工物を見つけしていきます。スポンジはすぐに見つかりますが、キノコやトカゲは

注意深く観察しないと見つけることが出来ません。このゲームは保護色によって身を隠している生き物について説明している小学校三年生の国語の教科書に出てくる「自然のかくし絵」と重なる部分があり、教科書と繋がりのある内容となっております。

お昼ご飯の後は、児童達が一番楽しみにしていた手づくりブランコです。その乗り心地はスリル満点で、みんなの叫び声や歓声がブナ林にこだましていました。

当日は少し寒かったものの晴天に恵まれ、カモフラージュゲームや手づくりブランコを楽しみ、忘れられない森林教室となったことでしょう。

なお、当日は高知県森と緑の会が取材のため同行しており、その様子は「こう

ち森のささやき」のホームページ「森のささやきブログ」に掲載されています。

## 飯野山記念

モニュメント除幕式

〈香川森林管理事務所〉

四月二二日、讃岐平野に突き出た美しい山容から、讃岐富士と呼ばれる「飯野山」の登山口において、「飯野山記念モニュメント除幕



中央が西村所長

式」が行われました。

飯野山は、レクリエーションの森の「風景林」で、年間約五万人の方が訪れます。標高が四二二mであることから、これにちなんで平成二二年度に、丸亀市観光協会において四月二二日を「讃岐富士の日」として制定し、イベントを開催しています。

二年目の今回は、「里山まつり」として開催し、その一つのイベントとしてモニュメントの除幕式が行われたものです。

このモニュメント(掲示板・縦一・八m、横三・四m)は、都市部の子供たちを対象とした自然体験の機会の提供や飯野山の情報発信に資するため、当所において、平成二二年度の飯野山地域森林・林業体験交流促進対策の事業の中で整備したものです。

当日は、時折小雨の降る

四月二四日、ニホンジカの食害にさらされている香美市の白髪分岐周辺で、山

## シカの食害から 山を守れ

〈高知中部森林管理署〉

このモニュメントには、登山の注意事項のほか、草花や野鳥に関する情報など、飯野山の魅力を紹介する予定としており、この設置を契機として、さらに地域から親しまれる山になって欲しいと考えています。

あいにくの天気でしたが、除幕式には丸亀市長をはじめ多くの関係者が出席し、当所の西村所長から、「飯野山はその大部分が国有林となっており、自然体験の場として利用されることを願っています」と挨拶があった後、除幕を行いました。



初めての方も指導を受け柵張りに参加

の植生を守り土砂流失を防ぐため、防護柵の設置とラス巻きを行いました。  
この活動は、当署と「三嶺の森をまもるみんなの会」の主催によるもので、一二回目となる今回は、初参加の高知工科大学の学生や教職員八〇名を含め、過去最多の一八〇名余りが参加しました。

と挨拶がありました。  
シカの食害により地表の植物が枯れ、斜面の土壌流失や崩壊の危険性が危ぶまれる尾根筋の三カ所に総延長六〇〇メートルの保護柵を設けるとともに、既に剥皮被害を受け始めている樹齢二〇〇年余りのモミ等を守るためラス巻きを行いました。  
参加者は、ネットなどの資材を一時間余り担いで山に登り汗をかきました。しかし、現地に着くと、この時期としては珍しく残雪が見られ、作業中も一時小雪が舞うなど、震えるほどの寒さでした。  
参加された方からは、「山に登るのは大変だったけれど、シカの食害から山を守るため、次回もぜひ参加したい」との声をいただきました。

## お知らせ

### 国際森林年のPR

〈指導普及課〉

国際森林年のPRのための「ロゴマーク」を木工パズルにしました。

二点作成し、ひとつは、総務課秘書係に展示し、もう一つは、各学校等で実施する森林教室等で「国際森林年」のPRのために活用します。



「国際森林年ロゴマークパズル」